


施設名	植水保育園	電話	048-623-6698
住所	さいたま市西区佐知川 306		

事例 1	タイトル	給食に出るさつま汁の調理実演。	
目指す姿 (大きな目標)	食育集会を通じて食への興味・関心・感謝の気持ちを育てる。		
当日のねらい (小さな目標)	食育集会で給食室の調理器具を見たり、さつま汁の調理を見て、関心が高まる。 『えいようのうた』を通じてそれぞれの食材の持つ力を知る。		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・ <u>3歳児</u> ・ <u>4歳児</u> ・ <u>5歳児</u> ・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ <u>保育士</u> ・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和3年 10月 14日(木)	
	場所	ホール	
	資料・教材	野菜(人参・玉ねぎ・じゃがいも・ねぎ)こんにゃく・味噌・かつお節(だし)・鍋・菜箸・計量カップ・おたま・包丁・まな板・ボール・ピューラー・プロジェクター 給食室の調理器具(ボール・しゃもじ・ざる等)・完成品のさつま汁。	
実施内容	①給食室の調理器具の紹介。 ②さつま汁の調理を実演。プロジェクターを使って、作っている様子を見せる。 食材・だし・味噌を紙コップに入れて子ども達に回し、触れたり、匂いを感じて楽しむ。 ③『えいようのうた』絵カードに合わせて歌い、食べ物、体を作ったり、力を出したり、調子を整える事等色々役に立っていることを知る。		
結果・参加者の反応や様子	①「これを使って、給食の先生は、100人分ぐらいの料理をつくるんだね。」と話をすると、調理器具の大きさに驚き、「すごいね。」「大変だね。」等の声が子ども達から聞かれた。 ②プロジェクターを使って、食材を切る所や、鍋の中を覗いて見る事で、近くで見ている感覚を楽しむことが出来た。実際に調理する中で、食材に見て触れて、切る音に耳を澄ませたり、匂いを嗅いだり集会後に、それを給食で実際に食することで、味を感じて食事を五感で楽しめる集会となった。 ③『えいようのうた』は、食育集会で毎回歌っており、身近な食材が、身体を作り、元気をつくりだしていることを知り、絵カードもよく見ていた。後に食育新聞で、歌についてのクイズを出すと、多くの子ども達が保護者の方と一緒にクイズに参加をし、景品のメダルをもらって喜んでいました。		
評価・今後の課題	1回目の食育集会では、野菜の断面図クイズ・ピーマンマンのペープサート、そして、今回2回目の食育集会で、調理器具紹介・調理実演を行い、子ども達の興味も膨らんだと思う。特に食材に触れたり、だしや、味噌の香りを嗅いだり、野菜を調理する音を聞いたりという、実際に本物に触れるという経験は、子どもにとってとても刺激があったようだ。「給食作るのって大変なの？」と話す子ども達の姿が見られたので、今後、機会があれば給食室の様子を、写真等使って知らせることができるとよいと思う。	備考	

<食育集会で給食室の調理器具やさつま汁の調理実演>



<調理器具の紹介>

給食室のお鍋やボールはこんなに大きいんだね。100人分ぐらい作ってるんだもんね。すごいよね。

<野菜切りの実演>

玉ねぎを切る時は、涙が出て大変！！水中眼鏡をすると涙が出ないという裏技があるらしいけど、なんでかな。不思議だね。



<食材に触れる>


ねえ、どんなにおいしい？
なんかとってもおいしいにおいしいね。

<調理の実演>

人参・玉ねぎ・じゃがいも・ねぎ・たくさんの野菜や豚肉を炒めて、だし汁を入れて、こんにゃくを投入。味噌を入れて出来上がり。出来上がったさつま汁は、この後お給食で食べてみてね。



施設名	さいたま市立指扇保育園	電話	048(623)5065
住所	埼玉県さいたま市西区高木 567-3		

事例 2	タイトル	玉ねぎの皮のTシャツ染め～運動会のユニフォームづくり～	
目指す姿 (大きな目標)	食材の性質に興味を持ち、様々なことを試そうとする。		
当日のねらい (小さな目標)	食材に自由に触れて、様々なことを試す中で、食材の性質に気付いたり、その発見を友だちと共有し合っ楽しむ。		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・ 5歳児 ・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ 保育士 ・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和3年10月1日(金)	
	場所	5歳児保育室	
	資料・教材	玉ねぎの皮、ミョウバン、白地Tシャツ、輪ゴム、大鍋、ガスコンロ	
	実施内容	<p>6月に紫キャベツの色水にさまざまな食べ物を入れて酸性の度合いによる色の変化を楽しむ遊びをした。活動を通して食べ物や色への興味を持った様子が見られ、10月には玉ねぎの皮を使用したTシャツ染めを行った。</p> <p>使用する玉ねぎの皮は、園に在籍する家庭や、給食室に協力していただいて集めた。Tシャツ染めを行う前にガーゼで試す。輪ゴムでとめた所が白く残る事を知ると、その後のTシャツで行った時には、自分で模様をイメージして輪ゴムをとめる。大鍋で玉ねぎの皮の煮出し汁を作り、そこに輪ゴムでとめたTシャツを入れる。大鍋から出した後は、ミョウバンにつけて色を定着させる。1度染めにするか2度染めにするかは自分で色を見て決めていた。色が定着したら輪ゴムを外して乾かし、完成した物をクラスの友だちの前で紹介した。</p>	
結果・参加者の反応や様子	<p>自作したTシャツは運動会の時のクラスのユニフォームとして活用した。揃いのユニフォームを自分たちで作るということに期待を寄せる子どもたちの姿が見られた。</p> <p>玉ねぎの皮の煮出し汁を作っている時には、箸で混ぜたいという声があった。安全に配慮の上、担任が子どものそばについて、子どもが箸で混ぜながら、「おりょうりしているみたい」「ママもこうやってる！」等のつぶやきも聞かれた。玉ねぎの皮を煮ると黄色が出てきた事、ミョウバンにつけると、更に鮮やかな黄色になる事に驚き、楽しんでた。自分だけのTシャツが出来上がると「ここがおはなの」「ボタンみたかったの」等、教えてくれて、友だちや担任、他のクラスにも見せに行き、嬉しそうにする姿があった。</p> <p>実際にクラスの子どもたちが揃って着てみると、子ども同士で顔を見合わせながら、お揃いであることを喜んで、友達のTシャツとの模様の違いに気付いて、相手の模様を褒めたりする姿が見られた。</p>		
評価・今後の課題	<p>ガーゼ染めをした時点で模様の面白さに子どもが気付き、Tシャツ染めでは絞りがたや輪ゴムの本数に違いが見られ、より意欲的に取り組んでいることが感じられた。</p> <p>今後、同様の機会があれば、玉ねぎについて調べる活動や、準備物を想像する機会を設け、「玉ねぎ」をはじめとする身近な食べ物について、子ども達がより主体的に関われる活動にしたい。</p>	備考	<p>玉ねぎで染めたTシャツをミョウバン液に浸している</p> 



施設名	さいたま市立馬宮保育園	電話	048-623-4014
住所	さいたま市西区西遊馬 119		

事例 3	タイトル	食品三食群を知ろう	
目指す姿 (大きな目標)	食への興味、関心を持つ		
当日のねらい (小さな目標)	栄養バランスを考えて献立が立てられていることや偏らずに食べることの大切さを知らせていく		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・ 2歳児 ・ 3歳児 ・ 4歳児 ・ 5歳児 保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ 保育士 ・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	2021年10月	
	場所	ホール	
	資料・教材	「えいようのうた」 食育パネルシアター食べ物大好き！三つの仲間 絵本「やさいのおなか」	
実施内容	<p>クラスごと(2・3歳は合同)にホールで「えいようのうた」のスケッチブックシアターを見ながら一緒に歌う。その後パネルシアターをみる。</p> <p>クイズなどをまじえ、三食群への興味、関心を高める。</p> <p>絵本「やさいのおなか」からクイズを出題し保護者とともに、食への興味、食育集会の話へのきっかけを作る。</p>		
結果・参加者の反応や様子	<p>三色のレンジャーが出てきて、子どもたちも楽しく話を聞いていた。途中のクイズでは出した食材が三色のどの色に仲間分けされるのかというものだったが、3歳児クラスではトマトを赤の仲間と手を挙げたり、食材の色に惑わされたりする様子があったが、学年が上がるにつれて、正解率は高まっていた。</p> <p>年長児は6月に「栄養指導」を受けてから、食品の3色分けを毎日やっていたため、自信をもってクイズに答える姿がみられた。</p> <p>しかし、わかめをクイズに出すと、自信たっぷり「緑」と答える年長児。答えは「赤です」と言った瞬間どよめきが起き、もやもやを残すことになってしまった。後日調べると、海藻類は赤にも緑にも属することが分かり、説明をすることで解決した。</p> <p>集会後の給食の時間には、「今日『えいようのうた』うたってないよ」「果物は緑レンジャーなんだよね」という声が聞かれ、集会時に3色分けが理解できていなかった子も、その後の取り組みで少しずつ理解を深めている。</p> <p>「やさいのおなか」クイズでは、保護者と一緒に楽しんで考えている姿があり、「答えはいつ教えてくれるの？」などの声も聞かれ、園全体で楽しむことができた。</p>		
評価・今後の課題	各クラスで集会を行ったことで子どもたちの理解に応じて伝えることができたので、楽しんでいたように思う。 集会の場だけでなく、日々の保育の中で食への興味を持てるように食材紹介や野菜の栽培も行ってきた。 今年は4・5歳児が「栄養指導」を受けることで更に食への興味が深まっている。 今後も継続して食や食材への興味、関心を持つような働きかけを行っていきたい。	備考	



食育集会では、少し前から歌っていた「えい
よのうた」をみんなで歌いました。この歌
のおかげで3色分けの理解が進んでいます。

次はパネルシアターを見ます。
バランスよく食べるとかっこいいレン
ジャーになれるというお話です。




食品の色分けクイズは
大盛り上がり！

やさいのおなかクイズは保
護者の方と一緒に解いても
らいます。



全問正解者にはキラキラメダ
ルの贈呈です。

施設名	三橋西保育園	電話	048-623-1350
住所	さいたま市 西区 6-381-1		


事例 4	タイトル	だしの飲み比べ	
目指す姿 (大きな目標)	だし本来の味を知る		
当日のねらい (小さな目標)	だしの種類を知り、違いを感じる		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・(4歳児)・(5歳児)・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・(保育士)・栄養士・調理師・(調理員)・その他()	
	日時	令和3年11月19日(金)	
	場所	4、5歳児室	
	資料・教材	昆布、かつお節、煮干しで取っただし	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 保育園で使っているだしを紹介する。 ② 一口程度のだしの入った紙コップを配る。 ③ どのだしか考えながら、においを嗅いだり味わったりする。 ④ 正解を伝えるとともに感想を聞く。 		
結果・参加者の反応や様子	<p>だしの入った紙コップを持ってお部屋に入った時から子ども達は「かつお節のにおいがする」と言っていて興味津々だった。</p> <p>実際に飲むと「味がない」「おいしくない」という声もあったが、一つずつにおいを嗅いだり、じっくり味わっている子どももいた。また、「給食では色んなお野菜の味も混ざって、もっとおいしくなるんだよね」という子もいて、だし本来の味を感じるとともに給食へとつなげて味わっていた。</p> <p>昼食後「今日のだしはかつお節だと思います」と給食室への報告もあり、食育活動に興味を持って参加してくれていた。</p>		
評価・今後の課題	<p>三種類の素材自体は知っていたが、そのものだけでは味わったことがなかったようで、よい経験になった。</p> <p>また、昆布、煮干し、かつお節の順に飲むことで、味の違いを感じることができた。</p> <p>この活動をきっかけに毎日の給食をよく味わって食べ、食育活動により一層興味が持てるようにしていきたい。</p>	備考	




施設名	日進保育園	電話	048 (663) 2791
住所	さいたま市北区日進町2丁目632		

事例 5	タイトル	ぼくたちのさつまいもは「せかいいち！」	
目指す姿 (大きな目標)	自分たちが収穫したさつまいもを通して、旬を知ったり、食べ方を考えたりなどをし、一緒に食べる楽しさを味わう		
当日のねらい (小さな目標)	自分で掘ったさつまいもを保育園みんなで食べることで美味しさや楽しさを共有する		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・ <u>5歳児</u> ・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ <u>保育士</u> ・栄養士・調理師・ <u>調理員</u> ・その他()	
	日時	令和3年11月16日(火)	
	場所	5歳児保育室	
	資料・教材	<ul style="list-style-type: none"> ・お芋掘りで掘ってきたさつまいも ・写真付きの掲示 	
実施内容	<p>「お芋掘り」の行事で、5歳児がさつまいもを掘った。自分たちで掘ってきたさつまいもを「小さい友だちにも食べてもらいたい」「どのようにして食べたいか」等、クラスの子どもたちで意見を出し合う。その中で「おいもパフェにして食べたいとの意見が出た。調理員が「マカロニあべかわ」のおやつにさつまいもを加え盛り付けを工夫してパフェ風にし、3時のおやつに園児全員が食べた。食べている様子を写真に掲示し、保護者に知らせた。</p>		
結果・参加者の反応や様子	<p>子どもたち同士で話し合って決めたメニュー(パフェ)が実際に、さつまいもと一緒におやつに出てきたことで、子どもたちは自分たちの思いが実現したことに喜ぶ姿があった。普段はさつまいもをあまり好まない子も、自分たちが掘ってきたさつまいもという事もあり、いつもより興味を持って食べようとしていた。「ぼくたちの掘ったお芋が一番おいしい!」「ぼくたちのお芋は世界一!」と言葉にする子もいて、周りの友だちと美味しさや嬉しさを共有していた。保護者に写真で様子を掲示したところ、保護者から「お芋掘りのお芋をみんなで食べたのですね」との声があったり、親子でおやつの時の話を楽しそうにしている姿があった。</p>		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・お芋掘りで掘ってきたさつまいもを自分たちだけでなく、保育園児皆で食べることで、5歳児は美味しさ、楽しさを分かち合うことができた。また、3,4歳児クラスは、年長クラスへの期待を抱いていたようだ。 ・子どもたちが「パフェ」を希望した事に対し、調理員同士が協力し合っ、おやつの中で提供できるアイデアを考えたことで、子どもの思いを、職種を超えて園全体で連携し実現していくことができた。 	備考	

施設名	さいたま市立東大成保育園	電話	048-664-6582
住所	さいたま市北区東大成町2-103		

事例 6	タイトル	保育園の給食の味をお家でも楽しんでもらおう！	
目指す姿 (大きな目標)	保育園の人気レシピを活用し、給食の味を各家庭でも作ってもらうことで、親子で食事を楽しんでもらえるようにする。		
当日のねらい (小さな目標)	<ul style="list-style-type: none"> 好きなレシピを持ち帰ってもらい、活用してもらう。 実際にレシピを活用した方に、シールを貼ってもらい集計する。 		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児 (保護者) その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭 (保育士) 栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和3年5月から	
	場所	ホワイトボードの掲示板	
	資料・教材	保育課で作成しているレシピ	
実施内容	保育園の給食の人気レシピを毎月主菜2品、副菜2品を掲示し、欲しいレシピを自由に持ち帰れるようにする。その後、翌月に前の月のレシピの表を掲示し、実際に家庭で作ってみた方にシールを貼ってもらうことで、どれくらい家庭でレシピを活用されたか知る。		
結果・参加者の反応や様子	<p>毎月約20～30部用意すると、レシピに興味を持ちレシピを家庭に持ち帰っていく家庭が多くあった。中には、給食が美味しいと家庭で子どもたちが話しているからという事から、レシピを持ち帰ってみたという方や、家ではなかなか食べないという野菜を、園の給食ではおかわりもする程だったという事を伝えると、実際にレシピを活用し、家庭で作ってみたという方もいた。</p> <p>配布を始めた頃は作ってみたという反応が多く返ってきたが、レシピにもよるものの、反応が減ってきてしまった。毎月配布するレシピの売れ行きはよかったので、作ってみたいと感じてくれてはいるものの、実際に作るとなると時間が持てずにいるだけであるのかと感じた。</p>		
評価・今後の課題	<p>園の給食に興味を示してもらう良いきっかけとなった。また、アンケートをとった事で実際にどのくらい活用され、どのレシピが人気なのか分かる目安となった。</p> <p>今後は、2月頃に集計結果をまとめ、人気順を発表し、上位のレシピを再配布したいと考えている。他にも、食材に含まれる栄養素を載せたり、子どもたちから作ってほしいものを保護者に伝えてもらったり、直接保護者の方にレシピをもっと勧めてみるなど、より活用してもらえる工夫もしていきたい。</p>	備考	

施設名	さいたま市立宮原保育園	電話	048-663-4120
住所	さいたま市北区宮原町2丁目83-2		

事例 7	タイトル	食べておいしい！遊んで楽しい！じゃがいもってすごい！	
目指す姿 (大きな目標)	・様々な実践を通して野菜や食材に親しみを持つ。		
当日のねらい (小さな目標)	・じゃがいもの変化する過程や不思議さを楽しむ。		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・ 4歳児 ・ 5歳児 ・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ 保育士 ・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和3年6月25日(金)	
	場所	5歳児室	
	資料・教材	なし	
実施内容	<p>数日前に行った、じゃがいも掘りのじゃがいもを使用し、実際に子どもの前ですりおろしているところを見せる。</p> <p>子どもと一緒にすりおろしたじゃがいもを布でもみ出しをする。</p> <p>もみ出した汁の時間経過後の変化を観察する。</p> <p>上澄み液を捨てて、沈殿物を乾かし、片栗粉にする。</p>		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・実験的な内容に興味を持ち、ワクワクしながら話を集中して聞いている姿があった。 ・すりおろしたじゃがいもの感触を楽しみながら、もみ出しをしていた。 ・沈殿物を乾かしたものを後日確認すると、片栗粉になっていた。 <p>【子どもの反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「じゃがいもをすりおろしたら片栗粉になると思っていたのに違ったよ！」 →実際に片栗粉をつくる過程を体験し、子どもの中で新たな発見や気づきがあった。 ・もみ出しの感触を楽しんでいた。数に限りがあったので「1、2、3…」と回数を数えながら自分の番を心待ちにしている姿があった。 →普段から片栗粉、小麦粉、パン粉等の食材に親しむ活動を楽しんでいるので、抵抗なく、もみ出しにも参加することができていた。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・食材の変化を子どもが参加しながら楽しむことができた。 ・天候や感染症の流行により、作った片栗粉を使った感触遊びに繋げることができなかったのが残念だった。 ・今回の取り組みのように、遊びを通して食材に興味を持てる機会を作っていきたい。 ・来年度のじゃがいも掘り後の活動にもつなげていけるよう、早目に計画を立てていきたい。 	備考	



【コラム】 早寝・早起き・朝ごはん ④

又ウのぬり絵♪「よく食べよく寝る」



つなが電



さいたま市 PR キャラクター

施設名	さいたま市立大砂土保育園	電話	048-663-7233
住所	さいたま市北区土呂町 1-51-8		

事例 8	タイトル	食育親子クイズ	
目指す姿 (大きな目標)	食材を見たり、触れたり、食材について知る		
当日のねらい (小さな目標)	親子でクイズを楽しむ		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和3年10月25日(月)～10月29日(金)	
	場所	大砂土保育園 玄関ホール	
	資料・教材	かぼちゃ・記入用紙・鉛筆・投票箱	
実施内容	<p>装飾用のかぼちゃを用意し、送迎時の親子を対象に重さ当てクイズを実施した。親子でかぼちゃを持ってもらい用紙に予想した重さを記入してもらおう。予想した重さが、実際の重さに最も近かった回答を正解とし、後日子どものみの表彰式でメダルとシールをプレゼントした。クイズ後のかぼちゃは中身をくりぬいてランタンにして数日飾った。</p>		
結果・参加者の反応や様子	<p>全園児約100人中、41人が参加し、正解は4人だった。子どもたちは、かぼちゃを見るとすぐに「何だろう？」と興味津々で見たり触ったりしていた。保護者の方は自分の子どもとかぼちゃを交互に抱き重さを比べたり、「子どもが生まれた時はこれくらいだったかな？」と思い出したりしながら、真剣に考えていた。くりぬかれたかぼちゃを見ると、子どもから「誰が食べたのだろう？」との声が聞かれた。ハロウインの時期が近かったので、かぼちゃのランタンや飾りにも大喜びだった。</p>		
評価・今後の課題	<p>・事前に食育担当から各クラスにクイズについて周知していたため、思ったよりも参加者が多かった。次回実施する時には半数以上の参加を目指したい。</p> <p>・見るだけではなくて、実際に触れることが出来て良かった。</p> <p>・玄関での送迎、QRコード読み取りでの登降園チェックにより、玄関先のみでの送迎が増えているところだったが、玄関ホールでのクイズの実施で保護者の方に中に入ってもらおうきっかけになった。</p>	備考	

食育親子クイズ



このように準備して
行いました。



一番近かった回答を正解とし、
表彰式をしました。
メダルとシールをもらって
嬉しそうにしていました。

ランタンにして飾ると
興味津々で見えていましたよ。
かぼちゃの中にライトを灯すと
さらに光ってきれいでした。



施設名	日進西保育園	電話	048-663-0063
住所	さいたま市北区日進町 1-800-1		

事例 9	タイトル	みんなで育てた夏野菜の不思議～浮くかな？沈むかな？～	
目指す姿 (大きな目標)	クラスや園で育てた夏野菜の収穫量を振り返り、野菜の浮き沈み実験を通して、野菜に親しみを感じ、食材への興味関心を高める。		
当日のねらい (小さな目標)	クラスや園で夏野菜を育てたことへの達成感や愛着を感じる。 重さに寄らない野菜の浮き沈みの不思議さを感じ、食材への興味関心を高める。		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・(5歳児)・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・(保育士)・栄養士・(調理師)・調理員・その他()	
	日時	令和3年9月15日(水)	
	場所	5歳室ホール	
	資料・教材	夏野菜の収穫量の一覧表、開く仕掛けのある掲示物、半透明の大型ケース、水、野菜(トマト、ピーマン、インゲン、ナス、キュウリ、カボチャ、他)、果物(リンゴ、ミカン)	
実施内容	最初に園で掲示していた収穫量の一覧表を見せ、収穫量のランキング付けを行う。次に、その育てた野菜類と追加の野菜、果物を用いて、「浮くかな？沈むかな？」とクイズ形式で聞きながら、浮き沈み実験を行う。どんな野菜が浮くのか？沈むのか？ということ、掲示物を見せながらまとめをする。		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫量ランキングでは、トマトやインゲンは収穫量が3桁までいって、「そんなにとれたんだ」としみじみつぶやく子もいた。 ・野菜の浮き沈み実験では、職員が浮くものと沈むものを持って、「どっちが浮くのかな？」と問いかけると、子どもたちなりに考えて、浮くものに手を挙げる。「うーん」と悩んだり、「知ってる、こっちが浮くんだよ」と自信を持って手を挙げたりする姿が見られた。わくわくと結果を期待し、結果に湧きあがるなど、良く楽しんでいることが伺えた。 ・クイズの前に野菜をじかに触れて、その重さや質感を比べることで、「こっちの方が思いから沈むんじゃない？」と子どもたちなりの考えや予想の発言が活発に出てきていた。実験で重いのにカボチャが浮き、小さいのにジャガイモが沈むのを見て、目を丸くして驚き、不思議そうにし、さらに「なんでだろう」と考える姿も見られた。 		
評価・今後の課題	夏野菜が、枯れると随時撤去していたため、改めて、園で育てていた夏野菜のまとめをすることで、子どもたちに夏野菜を育てた実感と達成感を得られる機会が設けられて良かった。野菜の浮き沈み実験では、子どもたちなりによく考えて、結果を予想する姿が見られたが、まとめの土の中にある野菜は沈み、土の上にある野菜は浮く、ということへの気づきは、5歳児だからできたことだと感じた。今後も身近な食べ物に興味や親しみを持てる機会を作っていきたい。	備考	

・夏野菜ランキング

野菜名	収穫量
ミニトマト	287
インゲン	201
ナス	99
ピーマン	28
トウモロコシ	10
ニトウモロコシ	2
ズッキーナ	0
キュウリ	11

野菜の収穫量ランキングは、
1位 ミニトマト 287個！
2位 インゲン 201個！
3位 ナス 99個！

・野菜の浮き沈み実験



入れて見るよ。
 ぼっちゃ〜ん！



・土の中で育つものと、土の上で育つもの



さっきの実験では、どれが浮いて、
 どれが沈んでたかな？

施設名	奈良保育園	電話	048-651-7172
住所	さいたま市北区奈良町125-6		

事例 10	タイトル	おいしい給食が出来るまで ～調理室の中をのぞいてみよう～	
	目指す姿 (大きな目標)	感謝の気持ちを持って食事をする	
	当日のねらい (小さな目標)	給食の先生の話聞き、調理室の中の様子や給食が出来るまでの過程を知る。また、食材を育ててくれている人、届けてくれる人、作ってくれる人等、沢山の人がいる事を知る。	
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和3年11月19日(5歳児対象の話) 11月19日～(事務所前掲示板に掲示)	
	場所	5歳児保育室、事務所前掲示板	
	資料・教材	・写真(調理用具、食材の搬入の様子、調理の様子等) ・写真を用いた掲示物 ・調理用具(鍋、鍋の蓋、へら)	
	実施内容	撮影した写真を用いて“おいしい給食が出来るまで”と題した掲示物を作成する。5歳児を対象に、調理師が写真の説明をしながら給食が出来るまでの話をする。実際に使われている調理用具も部屋に運び、子どもたちが触れられるようにした。その後、掲示物は事務所前に掲示し、全園児と保護者に内容を発信した。	
結果・参加者の反応や様子	調理室の場所や、給食やおやつが調理室で作られていることは知っていても、調理室の中の様子はなかなか見ることが出来ずにいた。子どもたちは調理師の話に興味を持ってよく聞いており、初めて聞く話や見るものがあると驚いた表情でいた。子どもたちからは「給食作るのって大変そう」「先生たち5人しかいないのに、みんなの分を作っているの?」「届けてくれる人もいたんだね」「ありがとうって思った」等という言葉が聞かれた。質問コーナーを設けると「給食室の冷蔵庫はどれくらい大きい?」「(写真を見て)手袋を付けているけれど、作る時はいつも付けているの?」「量りもあるの?どれくらい大きいの?」等と、調理室の中の様子や使っている調理用具についてもっと知りたいという内容の質問が多かった。その後、調理室で実際に使われている鍋やへらを持たせてもらうと、「(へらが)顔くらい大きい」「鍋がこんなに重たいと思わなかった」等と嬉しそうに触れていた。話を聞いたり、気になることを質問したり、調理用具に触れる経験を通して、給食が出来るまでの過程や調理室の様子により興味を持った様子であった。その後、事務所前に掲示物を掲示する。降園の際に子ども(5歳児)から保護者に聞いたことや知ったことを話す姿があった。0～4歳児クラスの子どもの興味を示し、保育士や保護者と一緒に見たり、内容について会話をする姿が見られた。		
評価・今後の課題	今回の取り組みを通して、子どもたちが調理室の中の様子や使っている調理用具について興味を持ち、もっと知りたいと感じている様子が伺えた。建物の構造上難しい点もあるが、調理室の中の様子を実際に見ることのできる機会を設けられないか、考えていきたい。また、掲示の中には様々な調理方法の紹介を入れたが、カレーなどの1つのメニューに絞って調理行程を紹介していく内容もできたら良いと考えた。	備考	掲示物の内容やレイアウトについては、調理師と保育士で話し合って決めた。作成については、写真の撮影と模造紙への貼り付けは調理師、コメント・イラストの記入は保育士が担当する等、分担して作業を行った。5歳児に向けての話は、実際に調理室にいる調理師が話す事で子どもたちがより興味を持って聞き、質問も活発にしていたと感じる。

〈 おいしい給食ができるまで 紹介の様子 〉



〈 調理用具に触れている様子 〉



〈 掲示物「おいしい給食ができるまで」 〉

おいしい給食ができるまで

みんなの大好きな「きゅうしょく」きょうのめにかはなにかな? いつもたのしみしているよね? きゅうしょくは**ちょうりしつ**というところで、きゅうしょくのせんせいたちがつくってくれているんだよ。きゅうしょくはどうやってつくっているのかな? やさいやおにくはどうやってはこばれているのかな?
ちょうりしつをのぞいてみよう!

1 はんにゅう
ほうれんそうにたまご... たくさんだね!
ぎゅうにゅうもはこばれたよ!

2 したごしらえ
じゃがいもをあらってかわしき... あらってかわもむけてしんじょおつけ...
にほしがたっている!
たまごをわいてます... おこのをどきました...
かつおのだし

3 ちょうり
とまとにき... どんらいがれ!
い... いる...
おいしくあれ!

4 もりつけ
みんなのおさらにひとつひとつついでにいれにもりつけます

5 はいせん
「からがらから!」とわごんのおどがきこえてくるとみんなやた...とうれしくなるね。きゅうしょくのせんせいがつくってくれたきゅうしょくがはこばれます。たべものにも、せんせいたちにも、はんとだれにも「ありがとう」のきもちをいただきます!!

6 しょっきあらい
みんながたべたあとは、おさらをびかびかになるまであらうんだよ! のこすにたべられならみんなうれしね。
たいてんはいつている

ちょうりしつにしょくざいやざいりょうをとどけてくれるひとたち
やおやさん... きゅうにめやん...
おにくやさん... さのなやさん... おこめやさんとやくとんもいます
いつもありがとう
きゅうしょくのどうぐ
すいはいき... へら...
お-ぶん... なべ...
あげなべ... むしき...

施設名	さいたま市立泰平保育園	電話	048—667—1847
住所	さいたま市北区今羽596		

事例 11	タイトル	子どもたちが収穫した旬の野菜に触れ、身近に感じよう！	
目指す姿 (大きな目標)	親子で食への興味・関心を高めていく		
当日のねらい (小さな目標)	<ul style="list-style-type: none"> 旬の野菜を知り、食への興味や関心を深め野菜のスタンプを楽しむ中で親しみを持つ 各クラスが野菜スタンプや芋版を楽しむ姿を発信し、保護者に食育の取り組みを知ってもらうきっかけとする 		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和3年7月2日(金)・11月1日(月)～11月5日(金)	
	場所	各保育室、テラス	
	資料・教材	5歳児が栽培したナス・オクラ、4・5歳児が収穫したさつまいも、絵の具、画用紙	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 5歳児が栽培した夏野菜の収穫をする、4・5歳児がさつまいも畑でさつまいもの収穫をする 野菜を様々な切り方をし、その断面で野菜スタンプが出来るようにする。芋版はさつまいもの断面を様々な形に掘り芋版が出来るようにする。0歳児～5歳児で野菜スタンプと芋版をした。 野菜を収穫している所と野菜スタンプ・芋版を楽しんでいる各クラスの様子を掲示し、作った作品も各クラスで飾り見られるようにした。 		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> 野菜スタンプでは野菜を握って感触を楽しんだり、「ポンポン」と押しながらスタンプされた形を見たりして楽しんでいる姿があった。 芋版は形が出るように丁寧に押ししたり、色や形が混ざる様子を楽しんだり、様々な姿が見られた。持ちやすかったこともあり、乳児も繰り返し押しして楽しむことが出来た。 野菜の栽培や芋ほりに参加出来なかったクラスの子どもたちも、実際に野菜や芋に触れ、遊びを通して感触を楽しむなど、食材への興味・関心に繋がっていた。 数に限りがあったが、友だちが楽しむ姿を見て期待して待ったり、交換して使ったりするなど、友だちとのやりとりにも繋がっていた。 遊びで使った野菜が給食などに出ると、「これ触ったね」と友だちと話したり、普段より食べようと意識したりする姿があった。 		
評価・今後の課題	全クラスで野菜スタンプと芋版を実施したことにより、他クラスと連携し取り組みやすく、保育園での取り組みとして保護者に発信することが出来た。子どもたちが育てた野菜や収穫した作物を使用したため、収穫はしていないクラスも触れるきっかけとなり、より野菜に親しみを感じたようだった。掲示が親子の会話のきっかけにもなっていたのは良かった。また、月に2度食材に触れられるように食材の回覧をし、その食材の豆知識カードと共に季節の野菜に触れることも行っており、旬の野菜に触れる機会は多く持てたように思う。	備考	

やさいスタンプをたのしみました！

そう組のみんなで植えて育てている野菜がだんだん大きくなり、収穫したオクラとナスを使い野菜スタンプを楽しみました！
 小さいクラスのお友だちも大喜びでいろいろな形に切られた野菜を押しつけてカラフルな作品ができましたよ！！



こんなにおおきくなったよ！
 みんなでスタンプしようね！



きりん組



りす組



そう組

オクラはほしのかたちで
 かわいいね



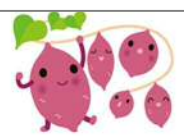
うさぎ組



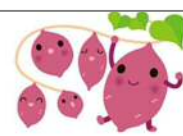
ひよこ組

あひる組は また後日楽しむ予定です！！

11月にお芋掘りをしたら今度は芋版を企画しています！



いもぼん
 芋版をたのしみました！！



令和3年11月5日

きりん組とそう組のみんなが おいもほりで掘ってきたさつまいもを使い全クラスで芋版を楽しみました！
 小さいクラスのお友だちも大喜びでハートや葉っぱのかたち、四角などいろいろな形に彫られたさつまいもを押しつけてとてもカラフルな作品が
 できましたよ！！旬の野菜にも触れられるいい機会になっていたようです！



ひよこ組



りす組



あひる組

たくさん おしたいな！

どのいろでスタンプ
 しようかな？



うさぎ組



きりん組



そう組

かわいくしたいな！



みんなが掘ったお芋で すてきな作品が出来たね！

施設名	大宮保育園	電話	048(641)1497
住所	さいたま市大宮区吉敷町1-132-3		

事例 12	タイトル	収穫物を使つての食育集会	
目指す姿 (大きな目標)	様々な食材に触れ、収穫物を観察したり加工・調理することで姿や形が変化したりすることを知り食への関心を深める。		
当日のねらい (小さな目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・園で育てた野菜に触れる。 ・加工・調理後の食材を見たり、匂いを嗅いだりし普段口にしている食材に興味を持つ。 		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・ <u>3歳児</u> ・ <u>4歳児</u> ・ <u>5歳児</u> ・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ <u>保育士</u> ・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和3年 9月29日(水)	
	場所	ホール	
	資料・教材	<ul style="list-style-type: none"> ・園で育てた野菜(大豆・小豆・ささげ・黒豆・ごま等) ・加工食品(納豆・あんこ・大豆の水煮等) ・調理器具(鍋・ガスコンロ) 	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・かぼちゃ割りを行い、割れた後の中身の様子や種の付き方を観察する。(十五夜のお供え物を活用した) ・園で採れた野菜や豆の莢を見せてクイズをしたり、身近にある加工食品と比較したりして実物を見せる。 ・赤飯ができる様子を観察する(5歳児のみ) ・ゴマを炒る所を見て、炒ったゴマの香りを嗅ぐ。 		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・かぼちゃ割りでは、各クラスの担任がかぼちゃを割ると拍手をして喜んでた。割ったあと、1人ひとりかぼちゃの匂いを嗅いでみると「メロンみたい。」「みどりのにおいがする。」と呟く姿があった。 ・クイズでは、今まで野菜や豆の水やりをしたり登降園時に親子で観察していたりしていた子が多かったため、クイズによく答える姿があった。また、「長いのができていたよね。」「ぼくも採ったよ。」など嬉しそうに伝え合う姿があった。 ・加工された食品をみせて回ると良く覗き込んだり、匂いを嗅いだりしたりしていた。観察しながら「おうちでも食べているよ。」と普段の食事と重ね合わせる子もいた。 ・赤飯が炊けたところを見たことが無かったようで身を乗り出して見ようとする子がいた。匂いを嗅いで「早く給食でも出ないかな。」と楽しみにする姿があった。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・食育集会の様子を写真入りの掲示にただだけでなく集会で使った食材やクイズのボードも掲示したことで帰りに保護者に集会のことを伝えたり話すきっかけになったりしていた。 ・赤飯ができる様子を見て、食べたがる子が多かったため、給食で出る日に合わせて開催すると良かったと思った。 	備考	<p><今後の予定></p> <p>冬にも食育集会を行う予定なので冬野菜(小松菜・ほうれんそう・つみな・白菜・ブロッコリー・玉葱)を子どもたちと一緒に育てている。収穫後は葉物野菜の違いを比較したり、白菜の葉が何枚できたかを数えたりするなどしてみんなが楽しめるような内容を考えている。</p>

食育集会

～ぼんだ組、きりん組、らいおん組～

各クラスで集まって、食育集会をしました。

担任が『かぼちゃ割り』にチャレンジ！！パカッと割れると「すご～い！」と、大興奮でした♪割れたてのかぼちゃの匂いをかいで、「メロンのにおいがする」「緑の匂いだあ」と、驚いていました。

夏の間、保育園のプランターで育て、収穫した豆の紹介をすると「ささげだ！」「納豆だよね」と、知っている豆の種類や加工食品を嬉しそうに答えていました♪

かぼちゃ割り



先生
がんばれ～！！



メロンの
匂いがする～！



甘いにおい
しないね…。

クイズ



知ってる！知ってる！
黒豆だよね♪



赤飯の様子

炊き立てのお赤飯
とっても美味しそう～！



集会で使ったものは
ホワイトボード前に
展示しています！



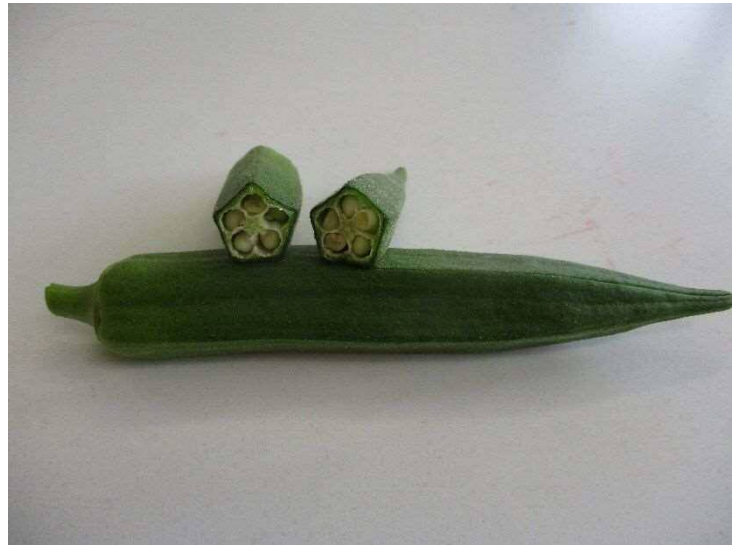
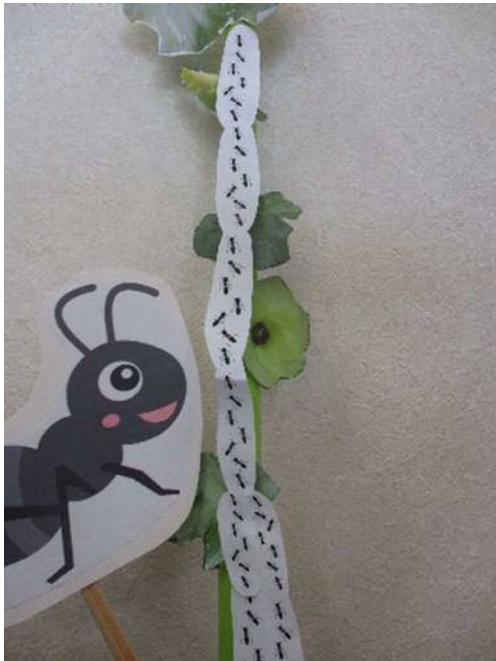
フライパンでゴマと塩を
炒ると、とっても良い香りが
しました！



施設名	さいたま市立 三橋保育園	電話	048-643-3145
住所	さいたま市 大宮区 三橋2丁目-929		

事例 13	タイトル	食育シアター「オクラの成長」	
目指す姿 (大きな目標)	野菜の栽培を通して、食材への興味・関心を高める		
当日のねらい (小さな目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜の成長に興味を持つ ・オクラの成長について知る 		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・ <u>3歳児</u> ・ <u>4歳児</u> ・ <u>5歳児</u> ・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ <u>保育士</u> ・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和3年8月19日	
	場所	ホール	
	資料・教材	<ul style="list-style-type: none"> ・「オクラの成長」のペープサート ・5歳児がプランターで育てたオクラ 	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「オクラの成長」のペープサートを見る。 “種植え” “水やり” “アリの大群がやってきた！” “大きくなったよ” ・5歳児が育てたオクラを触ってみる。 ・食育シアターやオクラを触っている様子を写真入り掲示にし、保護者に発信する。 		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・食育シアターではオクラのプランターへの水やりのシーンがあり、水が多すぎても少なすぎても上手く育たないことを知った。「お水ってどの位あげるといいの？」と具体的に水の量に関心をもった子もいた。 ・アリからオクラを守ったりするシーンでは、「オクラって花が咲くんだね」「アリさんもオクラの花が好きなんだね」「オクラの花って甘いのかな」などと楽しそうに話をしていた。 ・シアターを通じて、子ども達は簡単には野菜が育たないことを感じたようであった。5歳児では、野菜の栽培をしたりシアターを見たりした経験から、「お店で売っている野菜も農家の方が大切に育ててくれたんだね」というつぶやきも聞かれた。 ・オクラを実際に触ってみたことで「お星さまの形みたいだね」「白いひげもあるね」「ざらざらしているね」等、野菜本来の姿を知り身近に感じるようになった。またプランターで育てているオクラの成長にも関心を示し近くに行ってみる様子が見られた。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・食材への興味・関心を育てたいという保育士の思いから今回のオクラの成長を題材にしたシアターを企画した。取り組み後3・4歳児は以前よりもプランターで栽培されている野菜に興味を示し、見る機会も増えた。5歳児は簡単には野菜が育たないことを実感し、お店に売っている野菜にも思いを巡らせていた。 ・今回オクラの成長に興味をもったことをきっかけに、様々な食材への興味・関心を広げていきたい。 	備考	

「オクラの成長」

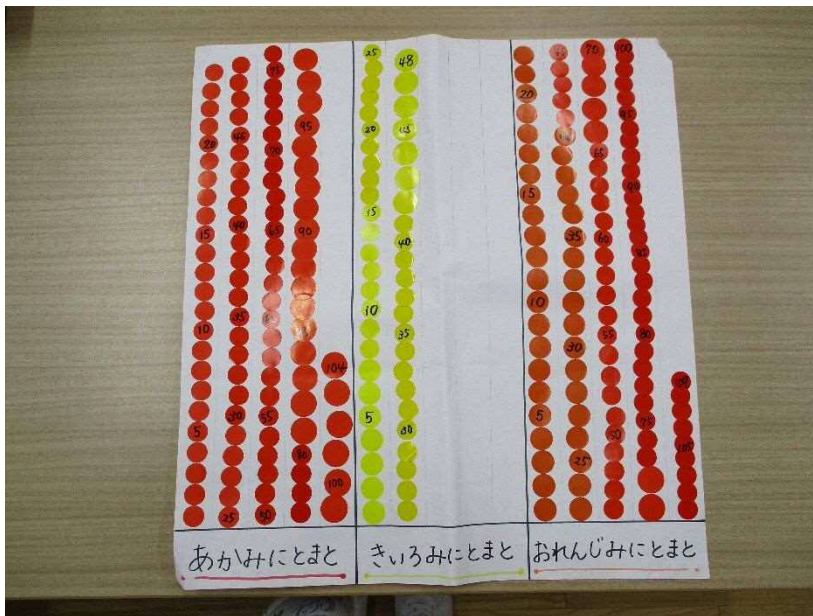


シアターはじっくり見ていた子どもたち。「こうやって大きくなっていくだね」等、野菜の育つ様子を知ることが出来ました。5歳の子どもたちが一生懸命育てたオクラ！3・4歳の子どもたちも実際に触ることができて嬉しそうです。



施設名	さいたま市立天沼保育園	電話	048-642-4240
住所	さいたま市大宮区天沼町2-438-1		


事例 14	タイトル	3種類のミニトマトの食べ比べ	
目指す姿 (大きな目標)	自分たちで育てた野菜に興味をもって食べようとする		
当日のねらい (小さな目標)	3種類のミニトマトの味、色、形の違いを感じる		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・ <u>4歳児</u> ・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ <u>保育士</u> ・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和3年5月～9月	
	場所	保育園 園庭・保育室	
	資料・教材	・ミニトマト(赤…アイコ / 黄…イエローアイコ / オレンジ…オレンジ千果 ・ミニトマトの収穫表 ・丸シール	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・5月に畑で苗を植える様子を見る。・グループごとに水やりをし、成長を見る。 ・実ったら1人1個ずつ家に持ち帰り、食す。 ・収穫した個数をみんなで数え、表に丸シールを貼った。 ・どの色が多く収穫できるか、合計いくつ収穫できるか予想し合った。 ・保育園では3種類のトマトの食べ比べをした。(計3回) 		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の水やりはとても意欲的に取り組み、雨の日は出来なくて残念がるほどだった。 ・日々成長するミニトマトの苗に興味をもち、「〇〇より大きくなった」「ミニトマトいっぱいになってるよ」と気づきがあった。 ・収穫表を見て、「赤が多いね」「オレンジが抜かした」「黄色は何で少ないんだろうね」等と様々な声が聞かれた。 ・表を作ったことで、あまり興味を持っていなかった児もいくつできるか一緒に予想したり、数えて参加したりする姿があった。 ・収穫できた順に1人1個持ち帰り、自宅で試食。「すっぱかった」「妹と分けた」「おいしかった」と感想があった。 ・3種類の食べ比べは3回実施した。「赤は普通においしい」「オレンジはちょっとすっぱい」「黄色はすっぱい。苦い(青臭い)」と味の違いを感じる事ができていた。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜の世話をしたことで、トマトが苦手な児も興味をもって食していた。 ・予想以上にたくさん収穫できたので、持ち帰りのトマトの数を増やして、家庭でも食べ比べできるようにしても良かった。 ・3種類を同時に食べ比べたことで、味の違いを感じる事ができた。 ・表や掲示物を作成したことで、子どもたちだけでなく、保護者にも関心を持ってもらう事ができた。 	備考	



- ◀ トマトの収穫表
- ・あか…104個
 - ・きいろ…48個
 - ・オレンジ…109個




施設名	上小保育園	電話	048-643-4436
住所	さいたま市大宮区上小町845-4		

事例 15	タイトル	「だしであじわう 和食の日」紹介	
目指す姿 (大きな目標)	話に耳を傾け、食材へ関心を持ち理解を深める。		
当日のねらい (小さな目標)	話を聞いたり、実物大を見たりする中で関心を持つ。		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和3年11月24日	
	場所	保育室・園庭	
	資料・教材	・「だしであじわう 和食の日」のポスター ・かつおとこんぶの実物大ぬいぐるみ ・だし(干物・水につけたもの)(かつおぶし・こんぶ・にぼし) ・だしに関する絵本『こんぶ』『しわしわ かんぶつ おいしいよ』	
実施内容	・「だしであじわう 和食の日」のポスターを参考に子どもたちに説明・紹介をする。 ・給食室に協力してもらい、本物のだしを見たり嗅いだり、触ったりする。 ・“かつお”と“こんぶ”の実物大のぬいぐるみを使って、魚はどのように泳いでいるか、 こんぶはどのように生えているか、又、だしの作り方を紹介する。		
結果・ 参加者の 反応や 様子	<幼児クラス> ・「和食って何？」と聞いてみると分からなかった様子であった。和食や洋食の区別の難しさを感じている様子も見られた。 ・実際のだしや実物大のかつお・こんぶを見て興味津々であった。“かつおぶし”という名前から魚の名前を改めて知ったり、工程の話では興味深そうに集中して聞いたりしていた。においを嗅いでみると、「良いにおい」「みそしると同じにおいがする！」といった感想や「生臭い～」という感想があがった。 <乳児クラス> 話だけだと難しさがあったが、ぬいぐるみが出てくることで興味を持って見ていた。不思議そうに聞きながらも、大事そうにだしの入った容器を持ち、においを嗅いでいる姿が見られた。		
評価・ 今後の 課題	・それぞれの年齢に合わせた方法で紹介ができ、子どもの反応が見られて良かった。実物があると興味を持ちやすく、不思議さや面白さを感じながら学んでいる様子があった。 ・保護者向けの掲示を通して、子どもと一緒に会話をし、食への関心を広げていた。 ・今回の取り組みをきっかけに、「今日の給食に使われているだしは何か」などの発信をして、より興味を持ち、身近に感じられるようにしていきたい。	備考	



施設名	大成保育園	電話	048 - 667-2559
住所	さいたま市大宮区大成町3-655-1		

事例 16	タイトル	保育園のカレーの作り方を知ろう	
目指す姿 (大きな目標)	園で人気のあるカレーの作り方を知らせ、保育園での給食に興味を持ってもらい、保護者と子どもが給食についての会話ができるようにする。		
当日のねらい (小さな目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の給食に興味を持ってもらう。 ・おいしく給食を食べる。 		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・ 5歳児 ・ 保護者 ・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ 保育士 ・栄養士・ 調理師 ・調理員・その他()	
	日時	令和3年10月27日	
	場所	事務所前ホワイトボード・5歳児保育室	
	資料・教材	カレーの作り方(掲示)	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・給食室で材料や調理工程の写真と撮ってもらい、掲示を作る。できた掲示は、事務所前にあるホワイトボードに貼り、送迎の際に見てもらえるようにする。 ・5歳児では、クラスで掲示を利用してカレーのできるまでを保育活動の中に取り入れ、子どもたちに話をした。 		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎の際に立ち止まって掲示を見たり、写真を撮ったりしていた。お迎えに来て掲示に気付いた保護者と担当した保育士が話をする機会があった。ルーから手作りしていることを知り、「家のカレーより保育園のカレーが好きなのはそういうことだったんですね。」という声も聞かれた。写真もあるので、工程が分かり易く、家で作ってみようかなと言う保護者もいた。 ・5歳児は、掲示を見ながらカレーの作り方を聞いて、「ルーを入れるんでしょ？」と言う。保育園のカレーは、ルーを使っていないことを知り、驚いていた。大きな鍋で混ぜたり、炒めたりすることや、大量に刻まれた野菜やたくさんの調味料で味付けされている事にも興味津々で、保育室に貼られた掲示をよく見ている。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示だけでなく、アンケートを実施し、保護者の感想や意見を聞く予定である。これから実施し、保護者の意見が出た取り組みができたらと考えている。 ・今後、保育園独自のもの、だしの取り方など給食室の先生に協力してもらいながら食育活動の掲示を作りたい。 ・集会などがなかなかできないので、クラスでもできる活動を考えていきたい。 	備考	

施設名	さいたま市立寿能保育園	電話	048-644-0470
住所	さいたま市大宮区寿能町 2-140		

事例 17	タイトル	料理ごっこを楽しもう	
目指す姿 (大きな目標)	身近な野菜や食材に親しみを持ち、食べる意欲を育てる		
当日のねらい (小さな目標)	給食に使われている野菜や食材に触れ、においや硬さなどを知る		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・(5歳児)・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・(保育士)・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和3年4月～11月	
	場所	5歳児室	
	資料・教材	給食に使われている食材、ままごと道具	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・給食室からその日の給食に使われている食材を少量ずつ提供してもらう。 ・子どもが見たり触ったりできる場所に食材を置いておき、給食を食べ終えた子から触れてみるができるようにする。 		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・最初は触って「硬いね」と言ったり、においを嗅いで「くさい！」と言ったりするだけであったが、その食材を使って料理ごっこをする子が出てきた。野菜をおもちゃの包丁で切ってみたり、煮干しを水に入れて出汁を取る真似をしたりしてとても盛り上がった。 ・かぼちゃは硬くてなかなか切るのが難しく、「なんでこんなに硬いのに食べる時には柔らかくなるんだろう？」という疑問を持つ子もいた。 		
評価・今後の課題	使ったままごと道具を洗って片付けることや、水をこぼさないように気を付けて運ぶことなど、子どもたちと一緒に約束事を決め、主体的に遊びながら食に親しむことができたと思う。3・4歳児も興味を持っているので、同じように取り組める方法を考えていきたい。	備考	